

月刊

ボラナビ

2008 年

10 No.122
月号

無料 ご自由に
お持ち帰りください

月刊ボラナビはおかげ様で10年!

今月の表紙イラスト

10/1~31 にギャラリー土土
(南 15 西 15) で個展を、10/9
~14 に道新ギャラリー(大通
西 3) で水彩教室展を開催さ
れる中館侑子さんに提供して
いただきました。

表紙のイラスト
募集中

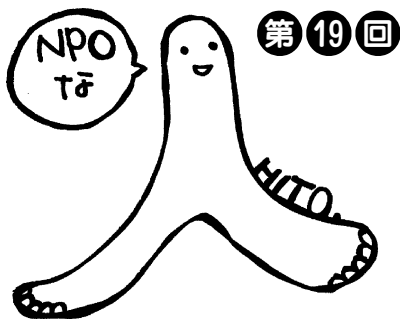
N
P
O
な
人

O
B
・
O
G
コ
ラ
ム

NPO法人シーズネット 岩見 太市さん
泣いた! 笑った! ボリビアの人々と...

北海道のNPO法人認証数
1,442 法人
(2008 年 8 月末現在)





.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....

財団法人秋山記念生命科学振興財団助成



著 者 NPO 法人シーズネット
理事長
岩見 太市 (いわみ たいち)

1941 年、京都市生まれ。31 才で故郷を離れ、長野、群馬を経て札幌市に移住して 23 年目。高齢期の新たなグランドデザイン（目指すべき姿）の提案を当事者の視点で実践中。

知的障がい者との出会いから福祉の世界へ

京都西陣のサラリーマン家庭に生まれました。家庭の事情で昼間の高校には行かず、毎日新聞社京都支局で事務補助のアルバイトをしながら夜間の定時制高校に通いました。友達は全員昼間の高校に通い、辛い 4 年間でしたが、その厳しさをバネに発奮してアルバイト料を貯めて受験勉強に励んだので、大学は昼間のに進学することができました。この体験は後の人生で困難な場面に直面した時に大きな自信を与えてくれることになりました。卒業後は信用金庫に勤め、順当なサラリーマン生活を送りました。長期休暇が取れた時、興味があった牧場の仕事を体験してみたいと思い、知的障がい者が生活しながら牛の世話などをする長野県松本市美ヶ原高原の施設に 1 ヶ月間住み込みました。ある日、作業を終えて山を降りようとしたら、知的障がいのある中年の男性が「置いていかないでー」と泣きながら追ってきたことがありました。それまで全く知らなかった知的障がい者とのそうしたエピソードが重なるうちに、彼らの飾り気の無さや、感情をストレートに出すところが心に残り、31 才の時、オイルショックによる世間の脱サラブームに乗って信金を辞め、福祉の世界に飛び込みました。

信州上田市の福祉施設の指導員として新しい一歩を踏み出しましたが、閉鎖的な施設に疑問を感じました。並行して、隣接する町で、社会に開かれた会員制の知的障がい者施設づくりの運動を行い、3 年間で実現することができました。そして 36 才の時、社会福祉法人かりがね福祉会を設立し、かりがね学園（定員 40 人）をオープンして初代園長に就任しました。当時はまだ一般的ではなかった知的障がい者の自立ハウス運営や、空き家を利用した共同生活など、いろいろな試みをしました。その後も請われるままに、群馬県で施設設立の手伝いをしたり、重症心身障がい児施設勤めをしたりし、44 才の時に、ある人の紹介で憧れていた北海道に移住することになりました。

シニア人生の仲間づくりと役割づくり

医療法人溪仁会西円山病院のソーシャルワーカーが北の都暮らしの一步でした。事務部長という管理職でありながら、医療福祉に従事したり、配食サービスを展開したり、手稲ふれあいボランティアを創設したりなど新しい試みを続けたことで、地域福祉を実践から学べたと思います。そして、縁あって札幌市社会福祉協議会に転職して地域ケアを推進する部署を創設し、60才で退職しました。人生の第一ステージは、生まれ育った京都から長野、群馬、そして北海道と渡り歩き、馬車馬のように走り続けていました。

仕事で道内を周って多くの人とお会いする中で、長いシニア人生を不安や悩み、寂しさを抱えながら送る方が大勢おられることが気になっていました。豊かな高齢社会到来には、まず当事者である高齢者自身が老後のグランドデザインを創造し、生きる価値観を自らの手で創ることが不可欠と感じ、介護保険制度がスタートした翌年の2001年に立ち上げたのがNPO法人シーズネットです。シニア層の自立した活動を基本にするため会員制（年会費3千円）とし、「仲間づくり」と「役割づくり」を2本柱に、①趣味や娯楽のグループ、②地域ごとに拠点を置くサロン、③会員同士が互いに知り合うことができるネットワーク、の3つの創出を施策に据えました。今では道内各地に支部活動が芽生え、北海道の会員数は常にほぼ800人を超えています。また、京都、三重、山形でも、それぞれの地元に有志が現れ、シーズネットが誕生しています。こうした取り組みが地域ニーズとして存在することが、全国的に認められつつあります。

今、私たちシニア層を取り巻く環境は大変厳しくなっています。私も京都に、大正生まれで要介護3でありながら介護サービスを拒否している母と、そのため全ての面倒を見てくれている妹が、遠くに行った私の時折の帰京を待ちわびているのを感じますし、自分も妻も毎年年にかしら心身に不調を感じるようになってきました。誰もが感じる社会制度や家庭環境の変化の中でも、私たちは自らの英知とパワーを結集して新たなシニア人生のデザインを描きたいと願っています。



「ゆったりストレッチ」、「歩こう会」など20以上のサークル活動がある

会員を募集しています

どなたでも会員になって頂きたいのですが、特に趣味やボランティア、その他グループを創って仲間を集めて下さる方、さらにシニア同士の助け合い、住まいの支援、その他社会活動のリーダーとして起業して下さる方を求めています。

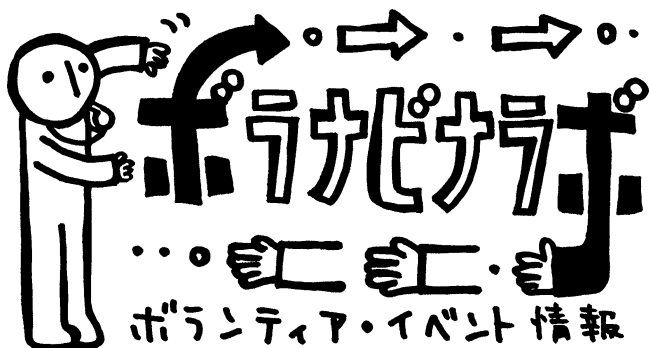
■■ NPO 法人シーズネット ■■■■

札幌市北区北10条西4丁目1番地 SCビル2F

Eメール seedsnet@abelia.ocn.ne.jp

TEL: 011-717-6001 FAX: 011-717-6002

ホームページ <http://www.seedsnet.gr.jp/index.html>



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

- ボラナビ.net <http://www.npohokkaido.jp/volunavi.net/>
※インターネット環境が無い方は、FAX や郵便でお送りください。

締切は毎月 25 日、次回は 10 月 25 日締切→12 月号掲載です。

掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

随時

学習障がいの子を持つ親の会・講演会のお知らせ

学習障がいとは、知的発達の遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する、または推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指します。私たち、「北海道学習障害児・者親の会クローバー」は 1987 年から活動し、会報誌の発行や、親子キャンプ・クリスマス会などのレクリエーションの開催、例会・学習会・講演会の主催などの活動を行っています。企画・運営、行事への参加、アンケートへの協力など…何らかの形で参加できる同じ悩みを持つ保護者の方の入会をお待ちしています。なお、神奈川県立保健福祉大学教授・日本職業リハビリテーション学会会長の松為信雄（まついのぶお）氏を迎え、「～発達障がい者の就労を考える～働き続けるために」と題して公開講演会を開催しますので、こちらにもぜひお越しください。

- 日時／10 月 25 日(土) 13:30～15:30 (受付 13:00～)
- 場所／北海道自治労会館 5 階 大ホール (札幌市北区北 6 条西 7 丁目)
- 料金／一般 1,000 円、学生 500 円。
- 締切／10 月 20 日(月)までにお申し込みください。先着順。
- 定員／360 人
- お問合せ／北海道学習障害児・者親の会クローバー〈担当：大井〉
E メール clover_oyanokai@hotmail.com
TEL・FAX: 011-694-8401
ホームページ <http://www.ld-clover.info/>

木曜

札幌市の財政を考えませんか

「さっぽろのおサイフを知る会」は、地下遊歩道建設の凍結を陳情したことをきっかけに 2006 年に発足しました。札幌市内の主婦が中心となり、毎週、市財政の勉強会を行っています。今年の初めには、勉強の成果をまとめた「市民がつくった札幌市の財政白書」を発行しました。政令指定都市で市民によって財政白書が作られたのは初めてです。現在は、教育や土木など分野ごとに更に詳しく読みやすくした改訂版の発行を準備しています。ご関心のある方、協力してくださる方はぜひ一度お越しください。申し込み不要です。

- 日時／毎週木曜日 13:00～17:00
- 場所／エルプラザ 4 階 (札幌市北区北 8 条西 3 丁目)。2 階に事務ブースを借りています。
- 参加費／月会費 1,500 円
- お問合せ／さっぽろのおサイフを知る会〈担当：飯原〉
FAX: 011-726-0344

10/
17・18

入院している子どもと家族のサポートボランティア説明会

入院している子どもとその家族が利用できる宿泊施設「ドナルド・マクドナルド・ハウス」が12月に札幌市手稲区にオープンします。電話対応、チェックイン&アウト業務、ハウス内の清掃や案内など、ハウス運営のサポートをしてくださるボランティアの方を募集することにあわせ、説明会を開催します。参加ご希望の方は、事前にお申し込みください。

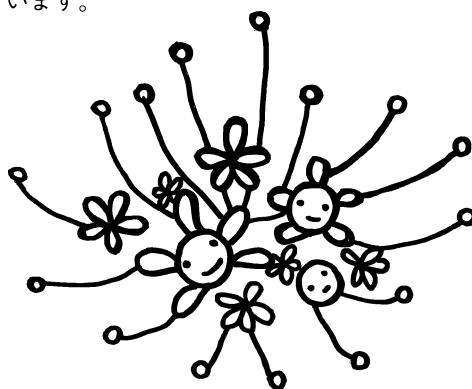
- 説明会／10月17日(金)、10月18日(土) 両日とも10:00～、14:00～、18:00～(各1時間ほど)。
会場は、道立子ども総合医療・療育センター「コドモックル」(札幌市手稲区金山1条1丁目240-6)内
- 交通機関／JR「星置駅」より徒歩5分。駐車場有。
- ボランティアについて／9:00～18:00は9:00、12:00、15:00スタートで各3時間ずつ、その他は18:00～20:00と20:00～翌9:00(ナイトボランティア)で、ボランティアさんの都合に合わせて、2週間に一度、好きな曜日と時間帯を担当していただきます。場所は、「コドモックル」の隣で車通勤可能です。ナイトボランティアのみ3,000円の交通費が支払われます。
- お問合せ／ドナルド・マクドナルド・ハウスさっぽろ〈担当：福原〉
Eメール dmhc_sapporo_mcd_mmp@yahoo.co.jp 携帯：080-3451-1906 FAX：011-691-1000
ホームページ <http://www.dmhcj.or.jp>

10/10
締

保護者が介助できない時のヘルパーさん募集

障がい児者の保護者の都合がつかない時に、代わりに子どもの介助などをするヘルパーさんを募集します。下記の研修を2日間受けた方のみが登録対象となります。研修は無料です。

- 受付締切／10月10日(金)。月～金曜日9:00～17:00に対応しています。
- 研修会／10月20日(月)、21日(火) 両日とも10:00～15:00
当会2階研修室(札幌市中央区北8西23-2-22イペール823)
地下鉄東西線「二十四軒駅」より徒歩約15分。
昼食を持参してください。
- お問合せ／札幌肢体不自由児者父母の会事務局〈担当：菊地〉
TEL：011-622-5006 FAX：011-622-8664



ボラナビ

今すぐご覧ください！

のホームページが新しくなりました。

ホームページはこれまで通り <http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>

ご希望の分野や曜日のボランティア情報をメールでもれなく入手できる新機能「ボラナビ・アラート」搭載!!! もちろん北海道のボランティア情報検索機能(ボラナビ・サーチ)もパワーアップしています。携帯からも閲覧・検索→→→



NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● Eメール volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042

がん患者や家族・遺族のための集い

私たちは、がん患者本人やその家族の意向に沿ったケアが医療現場などで行われることを願い、ホスピスケア（緩和医療）の啓蒙活動や勉強会を実施している団体です。がんなどの重い病を抱えた患者やその家族・遺族は辛く、苦しく、悲しい思いを語る場を必要としています。そこで患者、家族、遺族が集い、語り、思いを分かち合う「ひまわりサロン」を定期的に開催しています。ここは、専門家のアドバイスを求める場ではありません。同じような境遇の方はぜひご参加ください。参加費は無料です。また、「ホスピスケア市民講座」も年12回、開催しています。

●お問合せ／NPO 法人市民と共に創るホスピスケアの会

Eメール shimin-hospice@nifty.com TEL・FAX：011-615-6060（平日10：00～15：00）

〔ひまわりサロン〕

●日時／毎月第1・3火曜日（お正月、お盆、祝祭日を除く）14：00～15：30

●場所／当会事務所（札幌市中央区南1条西16丁目1-245 レーベンビル3F）

〔ホスピスケア市民講座〕

日時、場所、～テーマ（仮題含む）～、講師の順。各受講料は会員と学生が700円、一般1,000円。申し込み不要。

・10/24(金) 18：30-20：00 かでる2・7 520会議室（札幌市中央区北2条西7丁目）

～緩和ケア地域協力システム「あさひかんわネット」～ 旭川医科大学病院緩和ケア診療室専任医師 阿部泰之氏

・11/1(土) 18：30-20：00 かでる2・7 710会議室

～がんと家族と共に生きた5年～ がん患者会「フォーエバー」代表 金子明美氏

・11/14(金) 18：30-20：00 かでる2・7 730研修室

～道がん対策推進計画について～ 北海道保健福祉部保健医療局 健康推進課課長 田中宏之氏

・12月（詳細未定）

～再発、セカンドオピニオン、インフォームドコンセント、再治療～ 当会会員 黒田昌男氏

高齢者の皆さま、一緒に歌いませんか

私たちは歌謡曲や演歌を練習して、各所で披露させていただいています。10月は盲導犬育成のためのコンサートに参加し、春は発表会、夏はお祭りで歌い、施設などへの寄付活動もしています。メンバーは50代から80代まで13人で、女性が多く、男性は3、4人です。25人ぐらいで歌いたくて、新たに募集しています。専門家の指導を受けながら1ヶ月に1曲のペースで練習しています。みんなで歌うと楽しいですよ。

●練習日時／毎週水曜日 13：00～16：00

●場所／白石区民センター（札幌市白石区本郷通3丁目北1-1）

●交通機関／地下鉄東西線「白石駅」より徒歩12分、またはJR「白石駅」より徒歩15分。

バス停「白石区役所前」や「白石中央」、「本郷通1丁目」等も近くにあります。

●会費／月2,500円（譜面代、指導料、会場費など）

●お問合せ／札幌たんぽぽ歌の会〈担当：中山〉 TEL：011-864-3577

興味のある方

ぜひともお気軽に応募ください♪

- 資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上 運転免許必須 南区在住の方（周辺の方も応相談）
- 勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可
- 給与／時給930円（交通費400円/9/30まで440円 深夜手当などの諸手当有り）
- 勤務場所／南区とその周辺
- 応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか下記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ ヘルパーステーションせせらぎ

〒005-0804 札幌市南区川沿4条3丁目4-9 フラワーハイム102号
TEL：(011)572-7810 FAX：(011)572-7840

アロマオイルを使った ハンド・フットケア講習会参加者募集！

フットケアとは何？ 聞いた事があるけど詳しくは分からない。教えて欲しい！
そういう方の為に初心者用のフットケア講座を
下記の日程で開催します。

日時 毎月第2・第4土曜日
13：00～15：00（2時間/回×6回）

費用 35,000円（教材、修了証書代含む）

会場 狸小路カルチャースクール

札幌市中央区南2条西6丁目

●足のむくみ、手足の冷えが気になる方
●介護予防やリハビリに役立たせたい方
●認知症の緩和ケアに使いたい方

狸小路プラザハウス2F

※体験コーナー有

※出張講習有

NPO法人 日本ヒーリングケア協会札幌スクール

代表：おざわ

TEL：011-824-3848 FAX：011-824-3844

随時 病院ボランティア

私たちは市立札幌病院に入院・外来される患者さんと家族、並びに病院に来られるすべての方に対して、本会のモットーである「やさしさ」をもって触れ合い、市民に愛され信頼される病院づくりを目指して活動しています。ボランティア内容は多岐にわたります。資格は一切必要なく、10代から90代の方が活動しています。興味を持ってくださる方は、お問い合わせください。

- ボランティア内容／外来活動…ガイド（新規患者申込み用紙の案内・代筆、再来受付の機械操作の援助、病院内の施設案内、車椅子の介助、帰りの交通機関の案内、外国人患者の通訳・案内、外来の聴力・視力障がい者への対応、入院ガイド）、図書整理、院内美化活動（お花・折り紙など季節に合った展示）、花壇造りなど。院内活動…患者・家族とのふれあい、デイルームの図書コーナーの整理整頓、小児科病棟病衣やクッションなどの作成、病棟用品の手作り、紙芝居（毎月2回）、図書の修理。
- 場所／市立札幌病院（札幌市中央区北11条西13丁目）
- 交通機関／JR「桑園駅」より徒歩3分。有料駐車場有。
- お問合せ／市立札幌病院ボランティアの会やさしさ・ジェントル〈担当：向井〉
Eメール gentle@eagle.ocn.ne.jp TEL：011-726-2211(内線2281) 月～金曜日 9：00～14：00

随時 不登校・ひきこもり者への訪問ボランティア募集

訪問型フリースクール「漂流教室」では、不登校・ひきこもりの人に1週間に1回程度会う活動などをするメンタルフレンドスタッフを募集しています。メンタルフレンドには、カウンセリングの手法を基にした「受容と共感」の姿勢で当事者と接していただきます。事前研修を5回実施した後、当事者宅を訪問するか、あるいはフリースペース「漂着教室」にて当事者と会っていただきます。月例ミーティングでは他のスタッフと経験を共有し、互いに活動をサポートします。子どもたちとゆるやかに心のつながりをつくっていくお兄さん・お姉さん役となる人なので、年齢は20代までとします。訪問には継続性が求められますので、最低1年間は活動できる方をお願いします。教職や心理学系統の勉強をしている方には、ぜひお勧めしたいボランティアです。

- 活動日／訪問活動は週1、2回で、1回あたり1～2時間が基本です。フリースペース「漂着教室」では、火～金曜日の9：00～20：00に活動していただきます。当事者が来ているのは、だいたい夕方までです。
- 場所／漂流教室（札幌市中央区南8条西2丁目アウ・クル304A。地下鉄東豊線「豊水すすきの駅」〈6番出口〉より徒歩3分）、訪問先は札幌市内及び近郊市町村。
- 交通費／実費支給（研修時は無し）
- お問合せ／訪問型フリースクール漂流教室〈担当：山田・相馬〉
Eメール hyouryu@utopia.ocn.ne.jp TEL・FAX：050-3544-6448
ホームページ <http://members.at.infoseek.co.jp/hyouryu/>

病に悩むあなたを支える人たちがいます。

「クリスタルネット札幌」は、医療を求める札幌市民が自分にふさわしい医療者に出会うことができる社会環境づくりを目指し、医師・歯科医師を中心に札幌の医療者のネットワーク構築に取り組んでいます。病める人と医療者のいい出会いがあつてこそいい医療は実現します。札幌の医療を必要とする方は、以下のホームページをぜひ閲覧、ご利用ください。まだまだ微力ですが、市民と共に新しい出会いの環境を札幌につくっていきます。医療に関する皆様からのご意見や情報提供を求めています。ご協力をよろしくお願いいたします。



クリスタルネット札幌

■現在、札幌の医師・歯科医師約600名を含め、1000名を超える現場の担当者のネットワークを形成し、医療における信頼性の向上に努めています。

■あなたにふさわしい医療者を見つけるお手伝いをいたします。ホームページの情報を探しても見つからない場合は、お電話またはEメールにてご連絡ください。

電話 011-851-3147
メール apr24s36@cnm-sapporo.jp

<http://cnm-sapporo.jp/>（パソコン・携帯）

※携帯で利用可能な情報と機能は限られています。できるだけパソコンをご利用ください。

11/2頃
まで

公演のお手伝いをしてくださる方募集

私たち「演劇集合体マキニウム」は、主宰の楨文彦を中心に2000年3月に札幌で旗揚げした劇団です。10月24日～11月2日の期間中に行う演劇公演のお手伝いをしてくださる方を募集しています。内容は、公演前日までは、チラシの折込作業、衣裳収集、小道具収集・製作、舞台装置製作など、公演当日は、受付、会場整理、ビデオ撮影などがありますが、内容や時間はできる範囲で構いません。ご自分の得意なことをぜひ活かしていただければと思います。もちろん当日のみのお手伝いも大歓迎です。一緒にお芝居づくりを楽しみませんか？お待ちしております。

●公演日時（予定）／10月24日（金）～26日（日）、10月31日（金）～11月2日（日）

●場所／札幌市内

●お問合せ／演劇集合体マキニウム〈担当：金子〉

Eメール makinium2000@yahoo.co.jp

携帯：090-9437-6624 FAX：011-736-0726

ホームページ <http://makinium.web.fc2.com/>

随時

綿100%衣料を集めています

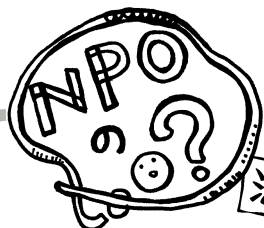
障がいがある人たちが通う障がい福祉サービス事業所「つくし」では、綿100%衣料の縫い目を切り、ハンカチほどの大きさにしたウエスを作ることを主な作業としています。古くなったり破れたりしていても、洗濯されていれば構いませんのでご提供をお願いいたします。札幌市内であれば車での回収も行っていますのでお気軽にお問い合わせください。

●日時／月～金 9:00～16:00

●受付場所／当会事業所（札幌市中央区南19条西6丁目1-17）

●お問合せ／障がい福祉サービス事業所「つくし」〈担当：大沼〉

TEL：011-561-0802 FAX：011-561-0804



～NPOのちょっとした疑問にお答えします。～

Q ボランティアでNPOのお手伝いをしていますが、先日
の会議でお客様にお茶を出した際に
誤ってこぼし、洋服を汚してしまいま
した。クリーニング代を請求されたの
ですが、私個人が払わないといけない
のでしょうか。

A まず、お茶をこぼしてしまったあなた自身は、民法709条
に基づく損害賠償責任として、クリーニング代を弁償す
る義務があります。他方で、たとえあなたがNPOの「お手伝い」
をしていただけてあっても、あなたとNPOとの間には、民法715
条1項が規定する「ある事業のために他人を使用する」関係が認
められますから、NPOも民法715条の使用人責任に基づく損害
賠償責任として、クリーニング代を弁償する義務があります。結
論としては、あなた個人とNPOが連帯して、クリーニング代の
弁償義務を負うことになります。

下矢洋貴 弁護士（佐々木総合法律事務所 TEL：011-261-8455）

随時

外出や食事介助のボランティアさん募集

私は車いすを利用している男性です。外出先での買い物や食事、映画鑑賞などの付き添いをしていただける方を募集します。交通費、飲食費はこちらで負担します。

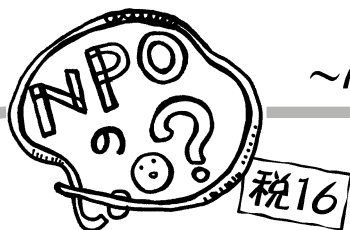
- 日時／土曜日 10:00～13:30（買い物の付き添い）
日曜日 9:30～14:30（外出先での映画鑑賞の付き添い）
- お問合せ／志鎌（しかま）
TEL・FAX：011-784-5250

**随時**

北海道ボランティア学校協力者募集

私は2004年から個人で、2006年には「音楽の贈り物」という団体を結成して、介護施設の入所者を対象に、抒情歌、演歌、懐メロ、民謡などを演奏するボランティア活動を行ってきました。これまでに300回以上の演奏実績があり、6,000人以上の方に楽しんでいただきました。また、介護施設の音楽環境整備として楽器の寄贈も行っており、これまでにピアノ4台、エレクトーン2台をプレゼントさせていただきました（楽器は一般の方から寄付されたものなどです）。メンバーも10人近くになり、協力してくれる音楽ボランティア団体も増えております。ただ、演奏を希望する施設は多く、また、演奏してみたいという人も地域にはたくさんいると考えられることから、コーディネートをよりうまく行い、あわせてボランティアの精神や、様々な分野（楽器だけではなく、声楽、朗読、司会、マジック、糸繰り人形マリオネット、パントマイムなど）の質の向上を図るために、「北海道ボランティア学校（仮称）」の設立を考えております。会場やスタッフ、資金活動、企画などの面で協力いただける方や関心のある方はぜひご連絡ください。よろしくお願いします。

- お問合せ／音楽ボランティア協定会〈担当：佐藤〉
Eメール musicpresent@softbank.ne.jp
TEL：090-3391-2482



～NPOのちよつとした疑問にお答えします。～

Q 認定NPO法人の認定要件が緩和されたと聞きましたが、どのように変更されたのですか？

- **A** 認定NPO法人制度とは、平成13年10月に始まった制度で、NPO法人が国税庁の認定を受けることで、寄付したものが税制上の優遇を受けることができるという制度です。今回、平成20年度の税制改正において、認定NPO法人の認定要件が一部改正されました。主な改正点は、①認定の有効期間やパブリックサポートテスト（PST）の実績判定期間が2年から5年に延長、②PSTの各事業年度における要件の撤廃、③寄付者の一人あたりの基準限度額が5%から10%に引上げ、④社員に占める親族等の要件の撤廃、⑤個人住民税（地方税）における寄付控除の適用などです。
- 龍谷和隆（龍谷和隆税理士事務所 apitakiya@aol.com）

随時 焼尻島のアザラシ調査ボランティア募集

私は日本海側でアザラシの調査が進んでいないことに興味を持ち、5年前から1人で、数や生態を調べています。道北の日本海に浮かぶ小さな島でこの簡単なボランティアと一緒にしませんか。詳しいことは電話やメールで説明いたしますので、ご連絡ください。また、11月8日(土)に札幌で「焼尻ごまちゃんクラブ誕生会」を行います。ボランティアについての説明もします。時間や場所などはボランティア希望者と調整し、各自に連絡しますので、興味のある方はご連絡ください。



●お問合せ／焼尻ごまちゃんクラブ〈担当：河野〉

Eメール gomafu-hungskangee72@ezweb.ne.jp 携帯：090-2074-5727

土曜 子どもやお年寄りへのレク活動ボランティアを一緒にしませんか

こんにちは。北海道大学&藤女子大学のボランティアサークル「セツルメント」です。私たちは毎週、近くの公園で地域の子もたちと一緒に遊んだり、市内の病院でお年寄りの方たちとレクリエーション活動をしています。子どもからお年寄りまで、世代を超えた多くの人との触れ合いを大切に、いつも楽しく活動しています。あなたはボランティアに興味はありませんか？ 大学生や、20代前半くらいまでの人なら誰でも参加できますので、ぜひ一緒に活動しましょう。ご連絡をお待ちしています。

●日時／毎週土曜日のお昼頃から ●場所／札幌市内の公園、病院

●お問合せ／セツルメント〈担当：金澤〉

Eメール the_settlement@mail.goo.ne.jp ホームページ http://www.geocities.jp/the_settlement/

月曜 日本語教師ボランティア募集!!

札幌に住む外国人の方に、毎日楽しく生活していただくため日本語を教えています。日本語を教えたいけれど場がないという方は、私たちと一緒に活動してみませんか。日本語教師養成講座修了又は修了予定、あるいは大学にて日本語教育を履修され、長期活動できる方を希望します。興味のある方は、一度メールにて連絡の上、見学にお越しください。お待ちしております。メールの返信は、一週間程度かかることもあります。

●日時／毎週月曜日 18:30~20:00

●場所／札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター

●活動費／月500円 ●お問合せ／日本語サークル Step J!

Eメール sapporostepj@hotmail.com ホームページ <http://2.csx.jp/~stepj/>



北海道のNPO・NGOの
相談業務承ります!

(財)北海道国際交流センター(HIF)は道南を中心にホームステイ、国際交流や地球環境、NPO・NGOサポートなどの活動をしている団体です。平成20年度の外務省NGO相談員です。北海道全域の相談業務に対応するため、HIF札幌デスクを開設。よりきめ細かい相談や出張サービス(いずれも無料)を承ります。

詳しくは、札幌デスク NPO法人ボラナビ倶楽部 または
(財)北海道国際交流センター(HIF) TEL: 0138-22-0770
FAX: 0138-22-0660 Eメール info@hif.or.jp
ホームページ <http://www.hif.or.jp>



ミニフォーメーション mini-information "mininformation"

期間	タイトル	時間・場所	内 容
10/3(金) ↓ 10/10(金)	ベトナムの 「子どもの家」作品展	10:00~17:00。 曜日によって延長あり。初日は12:00から、最終日は16:00まで。月曜休館。 石狩市民図書館 (石狩市花川北 7-1)	ベトナムの「子どもの家」は、小山道夫さん（フェエ市在住・名誉市民）が14年前に創立した、フェエ市にあるストリート・チルドレンのための住まいです。現在60数人の子どもたちが、ここで暮らし、地元の学校に通っています。作品展では、「子どもの家」に住む子どもたちの美術作品や卒園生のハンドメイドの刺繍作品を展示します。彼らの日常、夢や希望などを感じてください。未発表の作品です。無料。 ☎ 作品展実行委員 <菊> TEL: 0158-84-4623 ホームページ http://jass-jp.org
10/4 (土)	「しゃべり場ちゃっと」 でおしゃべり しませんか？	13:30~15:30 札幌市社会福祉総合 センター3階 第3会議室 (札幌市中央区 大通西19)	私たち「健康生きがいつくりアドバイザー」は、中高年の生きがいつくりを支援する知識と技術を身につけて厚生省認可財団により資格認定された専門アドバイザーです。一人ぼっちのシニアに会話や笑顔のひとつときを楽しんでもらいたいと思い、おむね60才以上の方を対象に、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しむ会を企画しました。参加費500円（お茶とお菓子つき）。 ☎ 健康生きがいつくりアドバイザー・おはこの会事務局 Eメール usap.s@ezweb.ne.jp <斎藤> 携帯: 090-6262-0314<川村>
10/11 (土) 他	葬送講座	11/15(土)講座前半。 10/11(土)または 12/10(水)講座後半。 時間はいずれも 13:30~15:30 当会事務所にて (札幌市中央区南2 西10 KUWAGATA ビル 北海道 NPO サポート センター内)	私たちは、誰もが一人ひとり生前から自分流の旅立ちを考えられるように、葬儀に関する様々な情報、法律、最近の傾向についてお伝えしたり、勉強会やおしゃべり会を開催したりしています。今回の葬送講座では、前半に、生前にできること（家族へのメッセージ、葬儀の形と規模について、自分らしさの演出について、そのほかの準備）、後半に、遺骨をどうするか、葬送業者の選び方・見積りへの注意点、亡くなってからの流れを学びます。後半から受講されてもかまいません。要申し込み。参加費1,000円。定員15人。 ☎ 葬送を考える市民の会 Eメール mail@soso-npo.com TEL・FAX: 011-261-6698 ホームページ http://soso-npo.com
10/13 締	ガンカモ ティーチャーズ ガイド in 宮島沼	10/19(日) 10:00~17:00 宮島沼水鳥・ 湿地センター (美唄市西美唄町 大曲3区)	財団日本野鳥の会の方を講師にお招きし、宮島沼で実践している環境教育活動を軸に自然解説とは何かを体系的に学びます。教師、野外活動の指導者、自然系施設の職員やボランティア、環境教育に興味のある学生など向けです。定員20人。参加費2,000円（テキスト代込み）。野外活動に適した服装、筆記用具、昼食、マイコップ（コーヒー、お茶を用意します）、行動食（飴、チョコなど）、あれば双眼鏡（貸し出し可）を持って来てください。 ☎ 問宮島沼水鳥・湿地センター <岡野> Eメール mwwwc2@snow.ocn.ne.jp TEL: 0126-66-5066 FAX: 0126-66-5067 ホームページ http://www.city.bibai.hokkaido.jp/miyajimanuma/



ボラナビに情報を掲載した方からのご意見、ご感想を紹介するコーナーです。

▼ ボランティア希望者の都合に合わせて、随時、説明をするという方法にしたが大変だった。次回からは、

あらがじめ数回の説明会日時を設定し、募集をかけた。

▼ とにかく、会って活動してもらわなければ、その人の熱心さが分からない。

ボランティアを軽く考えている人が多いように思う。

▼ 「根気がいる」とか「朝から夕まで」という言葉を入れてもらったが、省いてもよかったかも。次回からは、

興味を引くような形で作っていただきたい。

▼ ボラナビへの掲載申込み原稿の締切が、発行の**一ヶ月前**までときつくて詳細を記載できず、読者に伝わりづらかったようだ。

期間	タイトル	時間・場所	内 容
10/23 (木)	北海道高等盲学校 学校見学会	10:00～15:00 受付は9:30から。 (札幌市中央区伏見 4-4-21)	見えない世界、見えにくい世界を体験してみませんか。盲学校は視覚に障がいがある方々に対する教育、支援の一環として、一般の方々に視覚障がい者への支援について知っていただくための学校見学会を開催いたします。午前は見えない・見えにくい世界の体験や校内見学、午後は点字や介助歩行などの体験といった内容です。無料。10月16日までに電話でお申し込みください。定員20人。昼食をご持参ください。午前、または午後からのみの参加も受け付けます。市電「ロープウェイ入口」より徒歩7分。 ☎ 北海道高等盲学校 <柴崎(しばさき)・東海林(しょうじ)> TEL: 011-561-7107 FAX: 011-561-2423
10/24 (金)	札幌市里親促進 フォーラム	13:30～16:00 札幌市教育文化会館 4階講堂 (札幌市中央区 北1西13)	里親制度に理解と関心を深めてもらうために、札幌市と共催で里親促進フォーラムを開催します。最近、核家族・少子化など家庭の養育機能が低下し、里親制度がになう社会的な役割も大きくなっています。社会問題化している児童虐待の現状報告後、日々養育に汗を流している里親2組が、子育ての苦労や喜びについて発表します。無料。事前申し込み不要。託児あり。 ☎ 札幌市里親会事務局 <田中> TEL: 011-622-8630 FAX: 011-622-8701
10/25 (土)	「夢を運ぶ車いす」 コンドカール・ アラム氏講演会	14:30～17:00 ボランティア 研修センター2階 第1研修室 (札幌市中央区 北1西9 リンケージプラザ)	バングラデシュの障がい者自立、人権保障などの分野で活躍し、国連に障がい者問題の提言も行ったアラム氏が、バングラデシュと南アジアでの障がい者の状況、車いすの必要性などについて講演します。特に、障がいのあるストリートチルドレンや女性に対する取り組みについて詳しくお話ししていただきます。どなたでもお気軽にお越しください。定員80人。無料。バングラデシュのお茶・お菓子つき。 ☎ NPO法人「飛んでけ! 車いす」の会事務局 <吉田> Eメール tondeke@bz01.plala.or.jp TEL・FAX: 011-242-8171 ホームページ http://business4.plala.or.jp/tondeke/
10/26 (日)	野幌森林公園森一周	9:00～15:30頃 受付は8:45から。 集合場所は 野幌森林公園大沢口 (自然ふれあい交流館 駐車場入り口)	持続する共生の森をめざして! 野幌森林公園をほぼ一周、約18kmを歩きます! 昼食持参で、森の秋、季節の変化をじっくり観察します。無料。昼食・飲み物、雨具(雨天決行)をご用意ください。 ☎ 野幌森クラブ <尾崎> TEL・FAX: 011-831-7235
10/31 締	「長寿・子育て・障がい者基金」助成のお知らせ	締切り当日消印有効	独立行政法人福祉医療機構は、高齢者や障がい者の在宅福祉、生きがい・健康づくり、子育て支援、青少年の非行防止や健全育成、障がい者スポーツの振興などを行う団体を対象として、平成21年度助成事業の募集をします。詳細は、ホームページでご確認ください。 ☎ 特別分: 独立行政法人福祉医療機構 基金事業部 振興課 TEL: 03-3438-9946 地方分: 都道府県又は政令指定都市の社会福祉協議会へ(窓口は助成内容によって異なります) ホームページ http://www.wam.go.jp/wam/gyoumu/kinjigyou/main_04.html

詳細は各団体に直接お問合せください。

「月刊ボラナビ」に掲載ご希望の方へ

●お寄せいただいた情報は掲載内容等によって「ボラナビ.net」、「月刊ボラナビ」、「ボラナビメルマガ」に掲載します。又、情報誌「アルキタ」(北海道アルバイト情報社発行)のボランティア情報ページに転載することがあります。ボラナビでは情報を受け付け後一週間以内にお返事をしております。連絡がない場合は情報が届いていない可能性がありますので、お問い合わせください。

●掲載した団体、個人の方には、後日効果アンケートをお送りしますのでご協力をお願いします。
●掲載した情報以外の個人情報を第三者へ開示することは原則としていたしません。ただし、法令の規定に基づき提供しなければならない場合は、個人情報を開示することがあります。

OB・OG 青年海外協力隊

「海外でボランティアをする」—— 夢見たことはあるけれど、実現していない人は多いのではないのでしょうか。もしかしたらあなたが行くかも、あるいは行ったかもしれないその土地の様子を、青年海外協力隊 OB・OG の方々に教えていただきます。

第26回

泣いた！ 笑った！ ボリビアの人々と…

阿部かなえさん(28才)2006年6月～2008年6月まで、ボリビアで青少年活動に携わる。今回のコラムは赴任中に書いたもの。現在は就職活動中。大学院進学も考えている。



活動先の学校で

青年海外協力隊としてボリビアで活動し、早くも1年10ヶ月が過ぎました。私は標高2,500メートルのコチャバンバ県サカバという小さな町で暮らしています。サカバ市教育事務所とサカバ市役所に所属し、JICAと教育省が共同で行っている教育改善プロジェクトに加盟する2校の小学校を中心に、学校行事の実施を支援しています。また、インターネットやゲームセンターでの遊びが流行しているこの町に、少しでも子ども向けの文化的な活動の機会を増やそうと、司書と協力して、図書館内で読み聞かせ教室、工作教室、折り紙教室などの催しも開いています。赴任して半年ほどは活動の方向が決まらず、スペイン語も流ちょうに話せるわけではなかったため大変苦労しましたが、学校の校長や先生、司書と地道に努力を続けたせいか、共に築いた活

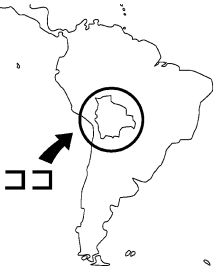
動もなんとか軌道に乗ってきたのではないかと思います。

サカバには日本人が私しかいないということもあり、この2年近くを通してボリビア人の友人も多くできました。フィエスタ(祝祭)でチチャというトウモロコシの地酒を飲んで踊るのがサカバの人々の娯楽で、私も彼らと一緒に楽しんでいます。注がれたチチャを一気に飲み干すルールには驚きましたが、最近は慣れてきました。また、この国は踊りが盛んで、私もエントラーダという舞踏行列に参加し、たくさんのボリビアの伝統的なダンスをみんなと踊りました。

ボリビアは南米最貧国だと言われています。しかし最貧国であることよりも、貧富の差の激しさに驚きます。大きな町には必ず物乞いの子どもや老人がいます。靴磨きをして働く少年もいます。その一方で、3階建てプー

豆知識

ペルーとボリビアにまたがるティティカカ湖は標高3,890m、つまり富士山よりも高い位置に、琵琶湖の約12倍の大きさで広がっています。



ル付きの豪邸に住み、豪華で不自由のない暮らしをする人たちもいます。でも、ボリビアの人たちはあきらめたり、投げやりになったり、希望を失ったりしません。彼らは、皆が平等な環境で生きているわけではないことを知っている、しかし、だからこそ自分の存在する環境の中で楽しく平和で豊かな暮らしができるように心がけているのだと感じました。そういった彼らの強さ、前向きさ、たくましさで救われ、また勇気をたくさんもらいました。色々な困難がありましたが、その都度私を支えて励ましてくれたのはボリビアの人たちです。私は彼らを心から尊敬しています。

ボリビアに別れを告げて日本に戻るのは大変辛いですが、私が2年間を通して得たことは、きっとこれからも忘れないと思います。

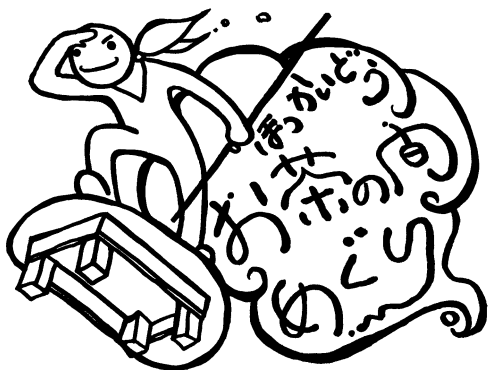


フィエスタでワカワカを踊った時の格好

▼応募相談・活動などボランティアに関するお問い合わせは――

独立行政法人 国際協力機構 札幌国際センター(JICA 札幌)

〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号 TEL: 011-866-8393 Eメール sict2@jica.go.jp



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中！
→ <http://www.npohokkaido.jp/chanoma/>

Vol.13

小さな憩いの森ブーケ

場 所	札幌市清田区真栄1条2丁目1-25 フォレストビル1階
日 時	月曜以外は毎日。10:00~15:00
参加費	300円でコーヒー又はお茶付き。カラオケ利用者は500円。
参加対象	どなたでも。当日直接会場にお越しください。
主催・連絡先	NPO 法人全国障害者福祉援護協会 北海道地区本部 TEL・FAX: 011-883-2914 (10:00~15:00 又は 18:00~20:00) Eメール qqsp4vud@cap.ocn.ne.jp



サロンの特徴

どの町内にお住まいの方でも参加できるシニアサロンです。高齢者の生きがいづくりの場として、いつでも自由に利用できます。バス停が近く、近隣に区役所、銀行、スーパーなどがあり、利用し易くなっています。サロン内は広くゆったりとしており、通信カラオケの設備が用意されているため、会話や交流、趣味やカラオケを楽しんでもらうことができます。利用する場合は、他の利用者に迷惑をかける言動は慎んでいただき、みなさんと楽しめる雰囲気づくりを心がけています。サロンからは、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、生涯現役の活動情報を発信していきます。2007年の利用者数は1,500人でした。

始めたきっかけ

高齢者の健康づくりと人手不足に悩む農家を支援する『農村助っ人隊』活動を2004年7月から始めましたが、農作業から離れている期間(11~4月)にも何かしたいと考え、2005年12月から地域の高齢者の生きがいづくりの場として開設したのが始まりです。翌年から札幌市シニアサロンモデル事業として認定を受け、現在に至っています。

参加した人の声、感想

- ・自宅と病院を往復するだけの生活で楽しみが無く、元気もなかったが、シニアサロンで友達が増え、カラオケを楽しんだりしているうちに体調も良くなってきた。
- ・自宅では息子の嫁とうまくいかず、スーパーなどで時間つぶしをしていたが、シニアサロンに来ることで友達もでき、会話やカラオケを楽しむことができるようになった。
- ・80歳を超えてからはカラオケに誘われることもなくなっていたが、シニアサロンは年齢に関係なく受け入れてくれるので、好きなカラオケを楽しく歌わせてもらっている。(豊平区福住からバスで通っている方)



**ボラナビカフェも
毎月開催しています。**



日 時/10月25日(土) 10:00~11:30
場 所/ボラナビ事務所(中央区北5西6 札通ビル3F)
内 容/テーマを決めずに楽しく話し合う場です。
どなたでも参加できます。
参加費/1,000円 定 員/10名
参加方法/要予約。ボラナビホームページから、
又は電話やEメールでお申込みを。
TEL: 011-242-2042
volunavi@npohokkaido.jp

8月の

事務局の1ヶ月を
振り返りつつご紹介



- 5(火)●新しくなるボラナビホームページのデザイン案を4つ、ボラボラ(ボラナビ倶楽部のボランティア)のSさんが作ってくれた。スタッフや校正作業をしていたボラボラさんとで相談し、素敵な一つに決めた。このボラナビが発行される時にはもうオープンしていますので、ぜひご覧ください。詳細4ページ。
- 7(木)●ボラボラさん自家製の野菜を今日もいただいた。家族だけでは食べきれない程できたとのこと。で美味しい限り。「オカヒジキ」という、スタッフの誰も食べたことがない歯ごたえのよい野菜もあった。
- 18(月)●北海道福祉のまちづくりコンクール審査会で森田が審査員を務める。●ボラボラの鈴木さんから寄贈されたMacを、鈴木さん自らが10.5にバージョンアップしてくれることに。OSをさっと買いに行き、あわせてプレゼントしてくれたのでびっくり! ありがとうございます。

- 19(火)●ボラナビ9月号が納品され、スタッフとボラボラさんが発送のための荷造りをしているところをカメラでパチリ。ボラナビスタッフの活動写真を東京のNPO団体がホームページに載せてくださるとおっしゃったため。
- 21(木)●2つのNPOの方がそれぞれ来所し、イベントで配ってくださるとのこと。ボラナビを50部ずつ持ち帰られた。とても嬉しい。配布協力をしてくださる方はぜひご連絡ください。印刷部数に影響する場合があるので、発行日よりひと月ほど早くお知らせいただければ幸いです。
- 27(水)●このボラナビが発行されている時にはもう公開しているはずのボラナビ新サイトに、変なところはないかをチェックするためのミーティング。30ヶ所も検討しなくてはならない点が判明。最近はこの作業の繰り返し。予定通りオープンできるのだろうか。
- 28(木)●札幌市にインターンシップをしている大学生2人がボラナビの活動を聞きに来た。ボラナビの話というより、スタッフが仕事を選択した時の気持ちや重きをおいたことなど、個人的な話ばかりしてしまった。
- 30(土)●まだ1年しか使っていないというプリンターをある会社にもらいに行った。札幌支社をたたくことになったが使わないかと連絡をくれていたところ。ボラナビのことを気にかけてくださり、大変ありがたい。



経済の先行きが心配されているそうです。でも、そんなときこそ、前向きになれるような誌面づくりをしていきたいものだと思います。ボランティアを通じて世の中を元気に!
(ボラナビスタッフ たかやま)

登録無料 欲しい情報がお手元に

ボラナビ・アラート

活動したい地域・分野・時間帯で
選んで登録。ご希望にあった最新の
ボランティア・イベント情報をお届け!

携帯からも簡単登録→

<http://npohokkaido.jp/volunavi/modules/vseach/index.php?controller=user>

毎月20日前後に、月刊ボラナビの梱包、封入、配達などを手伝ってくれる方を募集しています。古新聞をひもで梱包するのが得意というあなた! 月一度のボランティアにぜひご協力をお願いいたします。

発送準備ボランティア募集

お申込み
Eメール★volunavi@npohokkaido.jp
TEL★011-242-2042

月刊ボラナビの配置先 ボラナビは毎月25日に発行しています(約1,000ヶ所にて無料配布中)。今月は札幌市西区の配置先をご紹介します。

■札幌市 ●西区/山の手図書館/美芸学園札幌福祉保育専門学校/コープさっぽろ(等似24軒店・宮の沢店)/札幌東急ストア(福井店・平和店)/マックスバリュ等似店/西友(西町店・宮の沢店)/スーパーJOY(東八軒店・発寒中央店・西町店)/フレティ等似店/ラルズマート山の手店/北雄ラッキー(西野1号店・西野2号店・山の手店・発寒店)/ラルズ発寒店/くすみ書房/ダイヤ書房発寒店/文教堂(等似駅前店・西町店)/こまそば鶴喜等似店/サッポロ珈琲館本店/佐藤水産二十四軒店/たじま屋(新鮮居酒屋 たじま屋インターネット店)/札幌信用金庫(等似支店・発寒支店)/北海道銀行(等似支店・西野支店・西野二股出張所・八軒支店・宮の沢支店)/北海道労働金庫札幌西支店/札幌日産自動車(西店・発寒店)/Honda Cars 札幌(宮の森店・八軒東店・宮の沢店・西町店)/中和石油(FW 等似・発寒・西町)/勝木石油各SS/NTT ドコモショップ(西町店・等似店・宮の沢店)/JR 等似駅/北電札幌西支店/西区社会福祉協議会/西区民センター/西区役所/西野地区センター/はっさむ地区センター/びっくりドンキー等似店/北洋銀行等似中央支店/マックスバリュ八軒/牛角宮の沢店/青少年センター/はちけん地区センター/八軒まちづくりセンター/等似二十四軒まちづくりセンター/西町まちづくりセンター/発寒北まちづくりセンター/西野まちづくりセンター/山の手まちづくりセンター/発寒まちづくりセンター/八軒中央まちづくりセンター/宮の沢屋内競技場/西区体育館・温水プール

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>

※札幌市内の小中学校に配付しています。一部地域では、ポスティングもしています。 ※配置に協力していただいている皆さま、ありがとうございます。

※道佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様の協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。

ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (ハヒフ順)

ほくでんぼるねっと (北海道電力株式会社) 様
北雄ラッキー株式会社様
北海道エネルギー株式会社様
北海道銀行様
北海道新聞社様
有限会社北海道新聞中田専売所様
北海道文化放送様
北海道旅客鉄道株式会社様
遊佐新聞販売株式会社様

株式会社リクルート北海道じゃらん様
エックス様
株式会社 HBA 様
株式会社 NTT ドコモ様
札幌信用金庫
札幌大学様
札幌通運労働組合様
城宝和茂様
進藤芳彦様

鈴木千鶴子様
生活クラブ生活協同組合様
NPO 法人チャリティ・プラットフォーム様
株式会社土屋ホーム様
寺岡ファシリティー株式会社様
中道リース株式会社様
株式会社ニトリ様

寄付金について

一口 500 円より寄付金を受け付けています。

※月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなっています。10,000 円以上の寄付金や、この欄への 10,500 円の寄付広告をくださった場合は、お名前を誌面でご紹介しています。ぜひ、ご協力ください (政治団体・宗教団体などからの寄付はお断りさせていただく場合があります。ご了承ください)。

■情報掲載料金 (各 1 号につき)

種 類	サイズ (天地×左右)	料 金
企業・行政など広告 A	50 mm×157 mm	63,000 円
企業・行政など広告 B	50 mm× 76 mm	31,500 円
NPO・NGO の情報 A	50 mm×157 mm	10,500 円
NPO・NGO の情報 B	50 mm× 76 mm	5,250 円
NPO・NGO の情報 C	定型	無 料
裏 表 紙	50 mm×157 mm	105,000 円
バナー広告	60 ピクセル×120 ピクセル	52,500 円

※基本的に前払いをお願いいたします。
※左記の料金は、ご自身で制作された場合のものです。ボラナビ倶楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。(A=6,300 円、B=4,200 円、バナー広告=6,300 円)
※誌面構成上、広告スペースは白地とし、スペース全体にベタ引き・アミ引きの使用はご遠慮ください。
※「NPO・NGO の情報 C」は、誌面の都合により掲載できない、又は縮小する場合があります。

■定期購読のご案内

●各号 1 部 (6 ヶ月間)…………… 1,575 円

複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問合せください。

●お申込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。定期購読のお申込みをされる場合 (特に企業でお申込みの場合) は、協賛をご検討くださいますようお願いいたします。協賛については上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部へのお振込みは

■ゆうちょ銀行 (郵便振替) / 02700-1-5671

■北洋銀行北 7 条支店 / (普) 3662056 ■北海道銀行札幌駅北口支店 / (普) 0816050

■北海道労働金庫道庁支店 / (普) 3153060 ■札幌信用金庫本店 / (普) 4255071

■口座名: ボラナビ倶楽部 ※銀行口座振込みの際は、ご連絡先をボラナビにお知らせください。

ボラ情報が検索できる!

ボラナビ
mobile
<http://www.npohokkaido.jp/>

このバーコードから「ボラナビモバイル」サイトが見られます



QR コード対応携帯のみ



全編イラストでつづる、これまでにないガイドブック!

…………… おさんぽするようにドライブしよう! ……………
「おいしい」や「しあわせ」がいっぱい詰まった、ゆる〜りな 1冊です。



最新刊
「おさんぽ日和」
シリーズ第2弾

おさんぽ日和
さっぽろ近郊
のほほん旅



●すずきもも 著 ●B6判 (オールカラー)・144頁 定価 1260 円

さっぽろ歩き
のイラストエッセー

好評
既刊

さっぽろ
おさんぽ日和

●すずきもも 著
●B6判 (オールカラー)・128頁
定価 1260 円

北海道新聞社

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 電話 (011) 210-5744 (出版局営業グループ)
●お求めは書店、道新販売所でどうぞ。●表示価格には消費税が含まれます。

<http://www.aurora-net.or.jp/doshin/book/>
道新の本 検索

■ホームページアドレス
<http://www.npohokkaido.jp/volunav/>
■メールアドレス
volunav@npohokkaido.jp

■発行/NPO 法人 ボラナビ倶楽部
〒060-0005
札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 2 札幌ビル 3F
TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043

■発行日/2008 年 9 月 25 日
■発行部数/38,000 部
■代表/森田葉菜子
■印刷/刷アライナー
■イラスト/タケタミヲ

PRINTED WITH
SOY INK

この印刷物は環境にやさしい「豆インク」を使用しています。